

全国定通バスケットボール大会報告

◎第2回戦 本校32－64北海道札幌琴似工業

平成30年度全国定時制通信制体育大会第28回バスケットボール大会が、駒沢オリンピック公園総合運動場内の体育館および球技場で開催され、本校バスケットボール部も3年ぶりに出場しました。4年生2名、2年生2名、1年生6名で実質デビュー戦となりました。本校は2回戦からの出場であり、大分工業を大差で破った北海道札幌琴似工業との対戦となりました。インサイドの長身選手2名が中心となり堅実なプレーで、本校との差は歴然としていました。しかし、選手たちは臆せずゲームに臨みました。立ち上がりはお互いに硬さが見られたものの、徐々に白熱したプレーが展開されました。しかし、経験不足からパスミスが続き、徐々に相手のペースになっていきました。相手のゾーンディフェンスを崩せず単調な攻めに終始してしまい、外角からのシュートの確立も上がらず、後半は完全な相手ペースとなりました。最後まで声を出し続け元気にゲームを終えられたことは、1・2年生主体のチームにとって最大の収穫であったと感じています。悔しい気持ちやまだまだ自分たちは未熟であると実感したことで、今後の練習に向かう気持ちが今までより違ってくることを期待したいものです。

これまで応援してくださった多くの皆様に感謝いたします。



Ⅲ部四年次 星 涼雅

自分のしたいことができずに終わってしまい悔しかったです。最後の大会なので、悔いは残したくなかったのですが、準備が足りなかったです。自分はこれで卒業なので、後は後輩達に頑張ってもらいたいと思います。そして、来年は全国大会で勝利してほしいです。自分は、進路についてしっかり進めることができるよう頑張りたいと思います。

Ⅱ部四年次 佐藤 聖也

自分は最初で最後の試合でしたが、とても緊張してなかなか練習でしたことができなくて、いつもの力が出せずガッカリしています。ですが、ベンチから見ていて、チームの良いところが多く見ることができ、とても嬉しく思いました。まだまだこのチームでバスケットがしたいという気持ちが一杯ですが、これが最後だと思うと本当に悔しくて残念です。まだ色々このチームでやりたいことがありましたが、これで終了だと思えなくショックを隠しきれません。これまで、短い間ですが自分を支えてくれたマネージャー、厳しく指導してくださった先生、一緒にプレーをしてくれたチームメイトには、とても感謝しています。ありがとうございました。

Ⅱ部二年次 武田龍星

初めての全国大会に出場して思ったことは、選手一人ひとりが基礎練習をこなしていたのが実感できました。また、試合に出場して感じたことは、まず、シュートがあまり決まらなかったことです。次からは、コール下のシュートを 100%決められるように頑張ります。初めての全国大会だったので、自分の中では「経験すること」を目標にしてきました。一年次の後輩達も初めてだったので、この「経験すること」を言い聞かせてきました。自分は負けて悔しかったです。

Ⅱ部二年次 コスト：チャンドラー

今回バスケット部のみんなと全国大会に出場できてとても幸せです。日本に来て4年になりますが、最高の思い出となりました。これからももっと精進してバスケットボールを続けたいと思います。

Ⅱ部一年次 井上拓磨

相手チームのゾーンディフェンスを上手くくずすことができなかった。試合の最後のほうは、全く声を出すことができなくて、ガードとしての仕事をしっかりすることができなかった。自分の仕事を理解しチームが勝てるようなプレーを少しずつできるような練習をしていきたい。しっかり楽しんでプレーできたけど、今年が最後の先輩もいたので、1回でも勝って今年の全国大会を終えたかったです。

Ⅱ部一年次 山科力也

全国大会に出場して感じたのはレベルの高さです。自分が思っていた以上にレベルが高くてビックリしました。自分の今後の課題は、3Pシュートの確率アップとファールをもらった時にシュートを確実に決めること、ゾーンディフェンスの動き方の徹底等、たくさん見つけることができました。悔しい結果だったけど成長はできました。

Ⅱ部一年次 須藤健太

初めてのバスケの公式試合でした。当日朝までは調子が良かったものの、ランニングでダッシュしたら、足の筋肉を痛めてしまい、結局本番。足の痛みは、部長にだけ伝えて出場したが、試合の半ばで限界がきました。とても反省する点が多く、目の前の一勝にとっても集中していただけて、スタメン・コーチに伝えるべきだった、等日頃柔軟性を高めるストレッチをしておくことだとか、プレー自体も満足のいく結果にならなかった。ディフェンスがしっかり相手をマークできなかったこととオフェンスもハイポストからの判断が戸惑って何も作戦通りできなかった。これからもっとバスケの練習・試合を積んで、バスケに慣れるところから、そして色んな知識を得て、負けないチームづくりをしたい。

I部一年次 川上 新

僕自身の感想として、相手の強さが我々の想像を超え、結果敗戦したことは非常に悔しく思います。ほぼベンチにいたとはいえ、先輩方が最後の大会で終わりが近づいてくると、自分もコートに立っているかのように試合にのめり込みました。だからこそ、やはりこの結果を受け入れた時は一段と感情に拍車がかかりました。やはり一勝したかったです。

今回、僕は試合前の二日間でケガをして、走る場面でも他の部員についていけず、迷惑をかけました。原因は恐らく自分の体重です。負けた瞬間、僕の頭に浮かんできたのは、そのことの後悔です。四年次の先輩方は一線を退きますが、僕らにはまた来年があります。次

に東京に来るときは、もっとチームの役に立てるよう、体を絞って動けるようになって帰ってきたいです。

Ⅱ部一年次 赤塚希亜羅

今回の試合は、北海道札幌琴似工業と戦いました。試合前日の夜にミーティングをして作戦を立てて、当日試合では作戦通りにいきましたが、途中から作戦通りにいかず、相手からシュートを打たれ点数差がついてしまいました。でも、一人ひとり諦めずに全力で戦いました。今までしてきた練習も試合で発揮できました。今回の試合での反省点がたくさん見つかりました。①リバウンドやルーズボールが取れなかったこと②ディフェンスで相手を離しすぎて3Pを入れられていたこと③スクリーンをしなかったこと④パスを回さずすぐシュートして外したこと⑤遠いパスをカットされてレイアップされたこと等です。でも、ナンバーコールの声やスクリーンの対応の声等、一人ひとり出していたので、このまま続けていきたいし、私が出した反省点を1・2年次はしっかりしていきたいと思いました。一人ひとりが自分の役割をしっかり持ち、その役目を果たしたと私は思います。一本一本のシュートもしっかり打つことができ、外れた時もありましたが、丁寧にシュートを打っていました。

今回の試合で4年次の二人の先輩方は一線を退きます。次は1・2年次が頑張っていく番です。頑張りましょう。私達マネージャーも全力で選手をサポートしていきたいと思います。とても良い経験となりました。

全国大会に行けたことに感謝します。

Ⅱ部一年次 大類雪華

今回の全国大会は悔しい結果で終わってしまいました。私は実際試合に出た訳ではないけど、選手が今までどれだけ努力してきたかは、雪華と希亜羅が一番分かっていると思います。前日の夜もしっかりミーティングもして、緊張している人もいて、皆で声をかけ合って、少し落ち着いた状態で試合はできたと思いますが、後半No10No11にシュートをきめられっぱなしの場面が多かったです。

皆よく頑張りました。良い汗を流せたと思います。